

棚 POWER インフォメーション

寒い日がまだ続くようです。風邪をひかないようにこまめにうがいをしましょう。 2002.2.14 Vol.36



Ver9.20

IConcept サポートセンター

OSAKA / TEL(06)6821-2571
TOKYO / TEL(03)5469-1153

http://www.iconcept.co.jp/
e-mail iccenter@iconcept.co.jp

次回バージョンアップ特集2! Ver10の追加機能特集! 棚 POWER Ver10 3月中旬出荷予定! もうしばらくお待ちください。

●フェイスングに全画面表示を新設

フェイスングウィンドウを拡大(表示切替・標準)する際に、同時に全画面ウィンドウで売場全体の確認が可能となります。ガムや乾電池など商品が小さく、拡大表示しないと識別が難しい場合や、大型売場を作成する際、商品と売場全体を確認しながらの陳列が可能です。



現在位置は赤枠で表示。
赤枠をドラッグすると移動した位置にフェイスング画面が変わります。

●陳列検索(商品、台段)を新設

「自社商品が陳列されているか?」、「2台目の3段目にはどんな商品が陳列されているのか?」など、既存売場での陳列検索が可能になります。全画面表示と同時に使用することで、売場全体、商品、陳列確認が1度に行なえます。フェイスングを拡大表示していても陳列位置まで自動的に画面をスクロールし、該当商品や段を点滅線で囲んで表示します。

【単品検索】

JANコード, 商品コードで指定



【台段検索】



点線枠表示

さらに詳しく擬似操作が確認できる→ ホームページ講習会8時間目で公開中。是非ご覧ください!!

<http://www.iconcept.co.jp/forum/>

●帳票の「イメージ」、「バーコード」の出力位置を任意設定可能に

「出力項目」にイメージとバーコードを追加しました。任意の場所に「イメージ」、「バーコード」を出力できます。より柔軟な帳票レイアウトが可能となります。対応帳票: 陳列情報, オーダーブック, 見積書支援, 追加カット一覧表, 仮置情報, 分析表, モデル複合分析(アイテム)

■出力サンプル・陳列情報(同一出力項目で出力順を変更)

品番	イメージ	JANコード	商品名	商品サイズ	標準価格
1		490333001600	フレンチポテト 香のり味 80g	188 × 245 × 60	100
2		490333005219	フレンチポテト 香のり味 80g	188 × 245 × 60	120
3		490123512040	スティックシチュー 3本装 185g	180 × 220 × 65	130
4		490301590550	ポテトクリスチア チーズ&ガーリック	180 × 220 × 55	180

●フェイスング中にモデル設定が可能に

フェイスングで棚割作業中にモデル設定の変更が行なえます。商品リストで商品を絞込む場合に他カテゴリーに含まれる商品をリストから選択したいとき、フェイスング画面を閉じずにカテゴリーの変更、登録が可能となります。

●マスター整理の一時作業場所指定

マスター整理の作業場所を任意に指定できるようになります。これにより、ハードディスクの空き容量が不足していたためマスター整理が実行できなかったみなさまも、別ディスクを作業場所に指定する事でマスター整理が可能となります。

●比較リストのファイル出力

商品リスト-比較リストからファイル出力が可能になります。フェイスング中に比較していたデータを直接ファイル出力し、提案材料として有効利用できます。

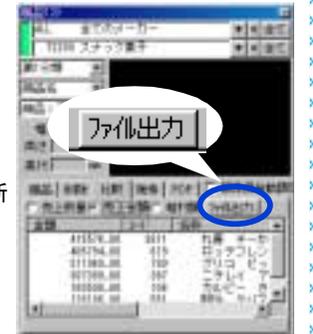
●モデル一括再分析処理の新設

複数モデルに対しての分析処理を1度にまとめて行なえる機能を新設します。これにより、複数の売場に対して同じ売上情報を設定する場合や、同一の分析基準(分析期間、ABC区分点など)を設定したい場合など、各々のモデルに対して設定する手間が省けます。

●粗利率のマイナス対応が可能に

今まで0として扱っていましたが、マイナスとして対応可能となります。

等VerUP予定です。ご期待ください!



Ver10 CD内容公開

次回のVer10CDには、こんな内容を盛り込む予定です。ご期待ください!

●分かりやすく説明した「棚 POWER Ver10のススメ(仮称)」を同封します。

インストール手順や注意事項, Ver10の主な新機能, インストール後にも活用できるお役立ち資料などを冊子にまとめてお届けします。

ご期待ください!



MD - ing 講座 30 粗利MIX (商品MIX) について

今回は粗利MIX (商品MIX) について説明いたします。
 この粗利MIX (商品MIX) の考え方を最初に定義したのは、米国のマイケル・カレンでした。
 (彼は、1930年、ニューヨーク州のロングアイランドのジャマイカでキング・カレン・ストアをオープンしたことで有名です)
 彼は、それまでの商売が、どの商品も同じ粗利益率で行われていた商慣習を、商品によって粗利益率を変え、売上構成比との関係で全体の粗利益率を最大化する方法を編み出したのです。それが粗利MIX (商品MIX) です。
 先ずは意味と内容ですが、

部門	売上高	構成比	粗利益率	相乗積
A	300	30%	5%	1.5%
B	200	20%	0%	0.0%
C	300	30%	15%	4.5%
D	200	20%	25%	5.0%
合計	1000	100%		11.0%

部門(会社全体・部門・品種・品目・SKU)の売上高構成比と部門(会社全体・部門・品種・品目・SKU)の粗利益率から全体の粗利益率を把握する考え方。

具体的活用は、部門全体(会社全体・部門・品種・品目・SKU)の粗利益率を上げるのが目標になる。それを達成するには、

粗利益率の高い部門(会社全体・部門・品種・品目・SKU)の売上構成比を上げる。

売上構成比の高い部門(会社全体・部門・品種・品目・SKU)の粗利益率を上げる。

以上2つの方法を取るのが効果的。

粗利益率の低い部門(会社全体・部門・品種・品目・SKU)の売上構成比が高くなると全体の粗利益率は下がってしまうので注意が必要である。

各部門(会社全体・部門・品種・品目・SKU)の売上構成比や粗利益率が変わることによって、全体の粗利益率が上がったり、下がったりする特性を予算組に活用できる。

売上構成比と粗利益率を掛け算したものを相乗積と言うが、これは売上高合計に対する貢献度を意味する。次に事例と手順について簡単に説明しておきます。

部門ごとの売上げ・粗利額・粗利率を表にする

	A部門	B部門	合計
売上高	14400	1600	16000
粗利益高	3200	800	4000
粗利益率	22.2%	50.0%	25.0%

相乗積表と貢献度表を作る

部門	(1) 売上高 構成比%	(2) 粗利益率%	(1) × (2) 相乗積%	粗利益高 貢献度%
A部門	90.0%	22.2%	19.98	80.0%
B部門	10.0%	50.0%	5.00	20.0%
合計	100.0%		24.98	100.0%

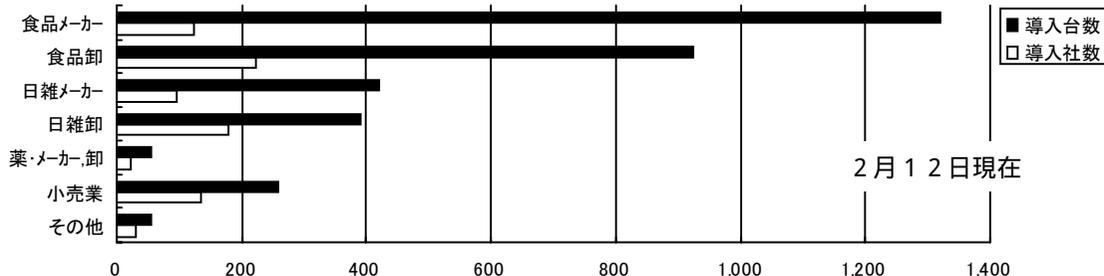
各部門の粗利益率を変えないで、全体の粗利益率を向上させる場合(相乗積の総和のこと)、売上高構成比をどのように変化させるかを考える
 ex: 全体の粗利益率を27%にする場合

ステップ1

B部門の売上構成比をXとする。そうすると、A部門の売上構成比は、全体を1として、(1-X)になる。つまり次ぎのようになる。

部門	(1) 売上高 構成比%	(2) 粗利益率%	(1) × (2) 相乗積%
A部門	1-X	22.2%	22.2-22.2X
B部門	X	50.0%	50X
合計	1		27.0%

棚POWER導入数【807社 3,425セット】



サポートセンター トピックスNo.21

サポートセンターへのお問合せが多い項目や便利な機能のご紹介

パソコンの買い替え、リース切り替えなどに伴い、パソコンを入れ替えられるケースが多いようです。棚POWERをインストールできるOSとデータの移行方法についてご紹介します。

Q: 棚POWERを利用することができるOSは? (Q&A文書番号: Z1900040)

A: 利用可能OS (サポートしている) は以下の通りです。

Windows95・Windows98

WindowsMe・WindowsXP (一部確認済の現象があります。)

Windows2000Professional・WindowsNT4.0Workstation

※WindowsXPについては前号に詳細を記載しております。

サポートしていないOS

WindowsNTServer・Windows2000Server

これらのOSで棚POWERの動作確認は行なっておらずトラブル発生時のサポートはできかねます。尚、WindowsNT4.0TerminalServerEditionとWindows2000のターミナルサービスにてアプリケーションサーバーとして使用する場合のみサポートします。(両OSで問題なく稼働します)

Q: 新しいパソコンに元の棚POWERのデータを移す方法は? (Q&A文書番号: Y2800018)

A: バックアップ・リストア機能で全てのデータを一括で移行できます。

バックアップ・リストア機能を使えば簡単に全てのデータを移行できます。

以下のファイルについては含まれません。

外部モデル・帳票設定ファイル(各帳票の設定内容を保存しているファイル)

必要によりエクスプローラでファイルのコピーを行なってください。

※「もしもの時」に備えて定期的にバックアップを行なうことをお勧めします。

詳細な操作・手順はHPの棚POWER Q & A集で確認してください。全文検索機能で上記文書番号を入力すると簡単に確認できます。(棚POWER・ヘルプからも参照可能です。)

随時内容を追加・変更しています。 <http://www.iconcept.co.jp/user/qa/>

ステップ2

A部門の相乗積とB部門の相乗積を合計した数字が、全体の相乗積となる分けだから。

$$22.2 - 22.2X + 50X = 27.0$$

$$50X - 22.2X = 27.0 - 22.2$$

$$27.8X = 4.8$$

$$X = \text{約}17.3$$

約17.3% (B部門の売上構成比)

そして

82.7% (A部門の売上構成比)

部門	(1) 売上高 構成比%	(2) 粗利益率%	(1) × (2) 相乗積%
A部門	*82.7	22.2	*18.36
B部門	*17.3	50.0	* 8.65
合計	100		*27.01

簡単な事例を紹介いたしました。ご理解頂けたでしょうか。予算作成時大変便利な手法です。先ずこの方法で予算などの計算をし、次に予算をどのように達成するかの実施内容を詰めていけば良いわけです。